

佐倉順天堂門人とその広がり 門人帳にみる門人とその史料をめぐって

土佐博文

Students of the Sakura Juntendo and Their Spread

はじめに

- ①「佐倉順天塾社中姓名録」にみる全国の門人のひろがり
- ②佐倉順天堂門人の史料をめぐつて
- ③新出史料『順天塾姓名録』について
おわりに

[論文解説]

蘭方医佐藤泰然によつて佐倉本町に開かれた蘭医学塾佐倉順天堂には、日本各地から多くの塾生が集まり、その数は数千を数えたという。しかしながら、一部の有名な人物以外の全体像については必ずしも明らかにされていない。これは適塾などのように、全時期にわたつてまとまつた形で門人帳が残されていないという史料的制約によるものである。また、多くの門人名については村上一郎氏の著書『蘭医佐藤泰然』にも挙げられているが、出身地の記載がなく追跡調査には困難を伴う状況である。

そのような状況において、本稿では、一時期の門人の状況を示すものではあるが、門人の出身地が記載されたものとして貴重である、慶応元年閏五月の『佐倉順天塾社中姓名録』をもとにした門人の追跡調査の結果に基づき、詳細が判明した門人について紹介し、その全国的な広がりについて考察する。

また、調査によつて門人の子孫の所在が確認できた、佐倉藩医で明治以降軍医とし

て活躍する西友輔と、明治期に官界で活躍する茨城県千代川村出身の塙原周造の関係史料について紹介する。

最後に、調査の過程において塙原周造関係史料のなからみつかつた、彼が順天堂在塾中に作成したと考えられる『順天塾姓名録』について紹介する。これによつて、從来知られている門人帳と比較検討してその分析を試みる。